

ユニフォーム変更で業務改善



病床数 154 床 一般病床 100 床 療養病床 25 床
地域包括病床 25 床
職員数 174 名 看護師 109 名 看護補助者 65 名

《課題・背景》

- ◆各勤務帯で時間外勤務が目立つ
→勤務終了者に時間外の指示を出すことがあり残業となる
- ◆看護師と補助者のユニフォームが同じ
→補助者へ指示を出すことがあるため
*補助者から不満の声あり
*正しい情報が伝わらない(指示の再確認)

《目的・目標》

- ユニフォームを変更して
- 1 看護師への直接指示で時間ロス減少
 - 2 治療やケアの遅れをなくす
 - 3 職種に応じた業務を遂行
 - 4 負担や不安なく安心して業務を遂行することができる

《取組み内容》

1. 2013 年から 2022 年まで看護師全員で同じユニフォームを着用
→男性看護師のユニフォームが医師と同じ→変更する
→看護師のユニフォームを勤務(日勤・夜勤)により色を変更
→男女同色にした→白ズボン不評 →紺色ズボンへ変更
2. ユニフォームを変更後の変化について、全職員への聞き取り調査を行う

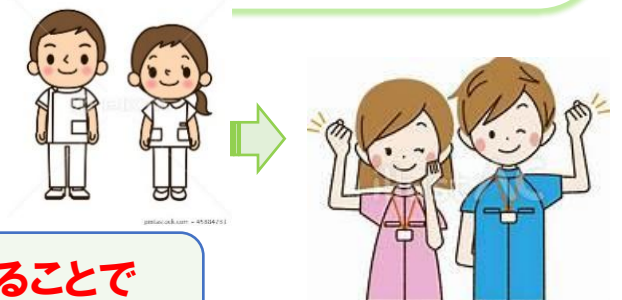


《成果・効果》

- 《医師側》
- ・時間外の指示が出しやすくなった。
- 《看護師側》
- ・医師の指示を直接受けるので時間的ロスがなくなり、業務もスムーズになった
- 《看護補助者側》
- ・医師から指示を出されることがなく、安心して仕事ができる
- 《他職種側》
- ・無駄な対応がなくなり、患者情報の確認も容易で間違えることもない

ナースセンターから一言

- ◎医師からの指示を受け対応で残業に繋がる状況は、どの施設でもありうることですネ。
- ◎看護師の残業に視点を置き、勤務別にユニフォーム色を変えたことで、残業の減少だけでなく、他職種への波及効果も得られた、素晴らしい取組みだと思います。



**安心して働き続けられる職場環境を整備することで
人の集まる病院を目指す**